

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	ファミリーサポートセンター事業				開始年度	20年	
基本目標	社会福祉の充実したまちづくり				終了年度	年	
担当課(局)	健康福祉課	担当係	子ども支援係	記入者	濱本 明俊	評価者	井上 敏郎
21年度決算	1,450	千円	22年度予算	1,450	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	647	千円	22年度人件費	655	千円	事業従事者数	0.09 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	会員相互の育児に関する援助活動を通して、地域全体で子育て家庭を支援し、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを推進することを目的とする
事業の内容	援助を行うことができる方がおたすけ会員としてファミリーサポートセンターに登録し、また援助が必要な方がおねがい会員としてセンターに登録し、援助が必要なときにセンターへ援助の依頼を行いおたすけ会員の援助を受ける。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 おたすけ会員登録者数(新規)	より多くの方に登録していただき、経験豊富な人材を確保することで、サービスの幅を広げることが出来る。
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 援助依頼件数	依頼件数により、どれだけ必要とされているのかを把握することが出来る。
	2 おたすけ会員養成講座	おたすけ会員を増やすために、養成講座を開催する。

◎達成状況

指標名	単位	20年度			21年度			22年度		
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
成果指標	おたすけ会員登録者数(新規)	目標値	30		30		50			
		実績値	33		33					
		達成率	%	110.0%		110.0%				
	0	目標値								
		実績値								
		達成率	%	#DIV/0!		#DIV/0!				
活動指標	援助依頼件数	目標値	30		50		70			
		実績値	24		63					
		達成率	%	80.0%		126.0%				
	おたすけ会員養成講座	目標値	1		2		2			
		実績値	1		0					
		達成率	%	100.0%		0.0%				
0	目標値									
	実績値									
	達成率	%	#DIV/0!		#DIV/0!					

◎事務事業の評価

妥当性(必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	平成20年6月から委託事業として開始した。核家族が増える現在では祖父母等に子どもを預けることの出来ない家庭が増え、短時間の預かりを行うこの制度があることで、子育てのしやすい環境づくりに貢献することができる。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	毎年会員を増やしていくことで、さまざまなケースの支援を実施していくことが出来る。 例) 看護師の資格を有しているの会員は、病後児等の対応をすることが出来る。 保育士の資格を有しているの会員は、小学校就学前の子どもを安心して預けることが出来る。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	委託先で養成講座を実施することで、短時間に多くの会員を確保することが出来る。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	おたすけ会員は有償ボランティアとして、少額の報酬で活動を行っている。

事務事業名	ファミリーサポートセンター事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	-----------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	22年度は、さらに利用しやすいように利用金額を助成した。しばらく現状を維持するとともに、委託事業者にさらなる広報を依頼したい。	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充	現状維持	縮小	廃止
						○	
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎事業のPRができていないのではないか。センターの存在を十分に周知してほしい。利用金助成も行っているため、利用者増を図ってほしい。同時に会員数の伸びも期待している。病後児の受け入れも課題と聞いているので、看護師OB等の確保にも努めてほしい。
	コスト	現状維持	